

せいかつか&そうごう

第8号

2001

指切りげんまん！

井戸紀子



昭和63年に初めて2年生で生活科を体験した子どもたちが3年生に進級する3月に、「先生、どうして生活科は3年生以上にはないの？」と聞かれた。私は不用意に、「こんな楽しい教科だもの、そのうちきっと6年生や中学生にもできるよ。」と答えた。教室内の子どもは、「ほんと！指切りしてね」と瞳を輝かせた。この子どもたちは、教師と共に相当な日数をかけて木造校舎の跡地を掘り、牛糞を入れたりして『生活科広場』を作り、ちっぽけな葉っぱの元にできた赤かぶを見ては感動したり、お祭りの準備に必要な教材をスーパーマーケットに買いに出かけるときなど、「頭がくるっちゃう程うれしい」と飛びはねたりしたものであった。私自身も試行錯誤の生活科であったが、彼等の活動や表現も実に不器用と言えるものであった。しかし、6年生を卒業するまで「わたしたちは初代生活科だ」と、常に誇りをもっていた。

生活科の活動も1年ごとに子どものものとなってきたある年の春、実に個性に富んだ髪型と学生服の裏地やボタンをガラガラさせた6、7名の男子生徒が小学校を訪ねてきた。その生徒たちは中学校の卒業式を終えたばかりの、紛れもない初代生活科の団であった。彼等のいでたちに驚きながらも、2年生の頃の楽しい思い出に花をさかせていたとき、突然「先生、覚えているか。僕等は、もう中学校を卒業したっていうのに生活科なんか出来なかったじゃないか。」「指切りしたこと覚えているか？針千本飲んでくれよな。」と意外な言葉を発し、ポケットに入れていた小指を私の目の前に突き出したのだ。この日までずっと教師と子どものたわいない会話としてすっかり忘れていた言葉を、この子どもたちは心の底に残し、中学校生活をどんな風に送っていたのか。そう思うと私は胸が熱くなった。

やっと『総合的な学習』の産声が聞ける年がきて、当学会の名称にも『・総合的な学習』という6文字が入った。生活科とは異なった誕生のしかたではあるが『子どもひとりひとり』の心を大切に、それぞれの子どもがそれぞれの存在感を表す教育には相違ない。

初代生活科の子どもと教師のように、総合的な学習を始める児童・生徒や教師も、テーマの見つけ方、課題追究のし方、その表現等は不器用で時間のかかるものであるに違いない。しかし「生活科の歴史」が少しずつ出来てきたように、「一人一人の児童・生徒・そして学校の総合的な学習の歴史」がゆっくり醸成されることを願っている。

目 次

◆ 指切りげんまん！	井戸紀子	1
------------	------	---

特 集 I 子どもの見取りと支援

◆ ウェビングによる子どもの気づきの深まりへの支援	上原裕子	4
ー長期にかかわる町のたんけん活動を通してー		
知的な気づきとウェビング	無藤 隆	12
◆ 一人一人の子どもに寄り添い、共感的に学びを見取る	二宮昭夫	14
ー第5学年総合的学習「翼をください」の実践を通してー		
二宮氏の実践の意味を探る	日台利夫	21
◆ 生活科の表現活動を通した児童理解	奥井智久・鈴木一恵	24
ー児童の言葉・動作・表情に着目してー		
◆ 中学校における「総合的な学習の時間」の実践とその課題	新井孝喜・茨城大学教育学部附属中学校	34

特 集 II 単元開発の創意工夫

◆ 子どもと共に創る総合的な学習の単元開発	堀田吉宏	44
単元開発の要点	嶋野道弘	51
◆ 「子ども発・子ども着」の単元開発	新富康央・城島周子	54
ー5つの原理と3つのアンテナー		
◆ サンサントタイムにおける学習の展開について	山田美知子	64
上北条小学校のサンサントタイムの意義と実践	高浦勝義	71
◆ 自ら学ぶ意欲を育てる体験活動	深谷圭助	74
ーカップ麺から見える異文化理解ー		
教材開発と展開にしかたが面白い	有田和正	84

自由稿

- ◆生活科に関する保護者の評価とその意識.....藤田静作・柴田朋恵 85
—小学校児童の保護者に対するアンケート調査を基にして—
- ◆総合的な学習の学習指導案についての検討.....平野朝久 93
—「はじめに子どもありき」を基本原理とする総合的な学習の場合—

私の授業づくり

- ◆生活科から総合的な学習を考える.....村上正道 103
- ◆ふれあいが創る総合的な学習.....尾谷青子 107

日本生活科・総合的学習教育学会会則	112
学会だより	113
学会誌編集委員会投稿及び編集規定	114
編集後記	115

